

第89回経営協議会議事録

日 時 平成28年10月20日(木) 10時00分～11時35分

場 所 特別会議室

出席者 (学外委員)

荒井委員、岩波委員、榊委員、高村委員、竹岡委員、長友委員、白井委員、
野々村委員

(学内委員)

福田学長、三橋理事、中野理事、木野理事、児玉理事、小花情報理工学域長、
本城情報理工学研究科長

(オブザーバー)

由良副学長、阿部副学長、椿副学長、松山監事、名取監事、酒井内部監査室長

第87回経営協議会議事録報告承認

第88回臨時経営協議会議事録報告承認

議 題

□報告事項

1. 給与勧告等について (資料①)
2. 平成27事業年度財務諸表の承認について (資料②)
3. 会計監査人の選任について (資料③)
4. 環境報告書2016について (資料④-1～2)
5. 平成28年度外部資金の受入状況について (資料⑤)
6. 共同研究施設(UECアライアンスセンター)及び電気通信大学(UEC)基金について (資料⑥-1～2)

議 題

報告事項1 給与勧告等について

児玉理事から、人事院からの給与勧告等の骨子について報告があった。

出された意見は次のとおり。

(学外委員) 人事院勧告に準拠し学内規程を改正する場合、人件費が増加するが、これは今年度の予算編成に影響を与えるのか。

(学内委員) 今年度の予算には、人事院勧告ベースによる人件費の増加見込み分を組み込んでいる。実際の人件費増加額はこの見込み分を超えるものではなく、予算編成に影響は無いと考えている。

報告事項2 平成27事業年度財務諸表の承認について

児玉理事から、平成27事業年度財務諸表について、6月28日付で文部科学大臣から承認された旨報告があった。

報告事項3 会計監査人の選任について

児玉理事から、会計監査人の選任について、6月16日付で文部科学大臣から有限責任監査法人トーマツが選任されたことが通知された旨報告があった。

報告事項4 環境報告書2016について

児玉理事から、昨年度の環境への取組み、活動状況及び今年度の環境配慮の目標、計画等を取りまとめ、環境報告書2016を作成した旨報告があった。

報告事項5 平成28年度外部資金の受入状況について

三橋理事から、平成28年度第1四半期の奨学寄附金、共同研究及び受託研究等の受入状況について報告があった。

出された意見は次のとおり。

(学外委員) 共同研究費および受託研究費受入額の増加の一因は、UR Aの働きによるものと思われる非常に良い。第5期科学技術基本計画は貴学の専門分野と合致しているため、政府系の外部資金の獲得に向けより尽力いただきたい。

(学外委員) 外部資金による大型の研究プロジェクトは多くの研究者を必要とするが、その大多数は任期に定めのある雇用形態だと伺える。これには研究員を使い捨てにしているのではないかという批判があるが、大学としてどのように考えているか。

(学内委員) 例えば、1つの研究プロジェクトにのみ従事せず、エフォート率を管理し複数のプロジェクトに従事している事例はあるが、環境の構築は完全ではない。いずれにせよ、非常に難しい問題である。

報告事項6 共同研究施設（UECアライアンスセンター）及び電気通信大学（UEC）基金について

木野理事から、平成28年10月14日現在の共同研究施設（UECアライアンスセンター）入居交渉状況及び平成28年9月30日現在の電気通信大学（UEC）基金の状況について報告があった。

出された意見は次のとおり。

(学外委員) 現在の共同研究施設の入居交渉状況では、契約上の入居保証率を確保する事が難しいのではないか。本来、保証率を上回る分の収益を建物修繕の原資とするべきところだが、この費用を大学予算から補填する必要が生じることを懸念している。

(学外委員) 施設の運用開始時の入居率だけでなく、継続性も重要である。契約上の入居期間はどの程度か伺いたい。

(学内委員) サンプルは少ないが、現状、1年程度の短期間の契約と5年程度の長期間の契約がほぼ半数ずつである。

(学内委員) 木野理事を中心に、修繕費等の要素も含めた全体的な視点で本事業に取り組んでいる。本件は今後も月次報告を行うので、引き続きご指摘等をいただきたい。

(学外委員) 電気通信大学基金について、企業からの寄附は何件程度あるか伺いたい。

(学内委員) 本学の卒業生が関係している企業を30数社程度訪問し、うち5企業から寄附をいただいた。

(学内委員) 現在、現行の基金制度の枠内に新たな種別の寄附制度を設ける準備を進めている。これは、一般的に所得税の寄附金控除の点においてより有利となるものであり、成果を挙

げるべく種々議論を進めている。

(学外委員) 卒業生が母校のためという意識を強く持って寄附に至る仕組みの構築が必要である。創立100周年という節目は絶好の機会だが、さらに長期的な視点での活動も必要である。

(学内委員) ご指摘のとおり電気通信大学基金は恒久的なものであり、今後も目黒会の協力も得て活動を続けたいと考えている。

(閉会 11時35分)

[配付資料]

- ①. 給与勧告の骨子他
- ②. 平成27事業年度財務諸表の承認について
- ③. 会計監査人の選任について
- ④-1. 環境報告書2016
- ④-2. 環境報告書2016 (ダイジェスト)
- ⑤. 外部資金受入状況一覧
- ⑥-1. 共同研究施設 (UECアライアンスセンター) 入居交渉状況
- ⑥-2. 電気通信大学 (UEC) 基金の状況